

オウム真理教問題 講演会

オウム真理教問題を
風化させない

平成7年にオウム真理教が引き起こした地下鉄サリン事件などの凶悪事件から30年が経過し、信者が烏山地域に転入してから25年が経過しました。

オウム真理教は現在、主流派の「Aleph（アレフ）」の名称を用いる集団及び「Aleph（アレフ）」と一定の距離を置いて活動する「山田らの集団」、並びに上祐派の「ひかりの輪」の名称を用いる集団を中心に活動しており、「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」に基づき、公安調査庁の観察処分に付されている団体です。

烏山地域には、現在も「ひかりの輪」の信者が居住し、修行やセミナーと称する活動を続けており、地域の方々は不安な生活を強いられています。

区では、オウム真理教が引き起こした各種事件を風化させず、地域に平穏な生活を取り戻すことを目的に、オウム真理教問題講演会を開催します。皆様の参加をお願いします。



当日直接会場へ
お越しください。



手話通訳あります。

日 時

12月18日(木) 午後3時～
午後5時

会 場

せたがやイーグレットホール (世田谷区民会館)

講 師

中村 裕二 氏 (オウム真理教犯罪被害者支援機構副理事長、弁護士)

お問い合わせ 世田谷区危機管理部地域生活安全課

電話 03-5432-2267 / ファックス 03-5432-3066

